

氏名： 長谷川 武弘 (HASEGAWA Takehiro)  
所属： 教育事業部 (チャイルドケア アンド エデュケーション講座)  
学位： 博士 (医学) (2006 東京女子医科大学)  
職名： 特任講師  
専門分野： 障害児保育、脳機能計測、発達神経心理学  
URL： <http://www.fc.ocha.ac.jp/ccae/index.html>  
E-mail： [hasegawa.takehiro@ocha.ac.jp](mailto:hasegawa.takehiro@ocha.ac.jp)

#### ◆研究キーワード / Keywords

障害児保育／障害児コミュニティ支援／発達神経心理学／脳機能計測

#### ◆主要業績

- ・長谷川武弘，小西行郎：埼玉県朝霞市における保育園巡回相談の取り組み—保育士による自主勉強会と保健センター発育発達相談事業との連携— 日本特殊教育学会 第 45 回大会発表論文集 p.200,2007

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

地域における障害児支援の臨床的研究と、発達段階における脳機能の成熟過程の基礎的研究の 2 点を中心に行っている。

##### 1. 障害児の包括的支援システムの研究と実践

現在、埼玉県南部の中規模都市を対象に、乳幼児期から学齢期に至る、障害児を連続的に支援できる方略の開発を目指して実情調査を含めて研究を進めている。

##### 2. 脳機能の成熟過程に関する研究

注意欠陥多動症には衝動性を抑えきれないタイプと注意の持続が困難なタイプがある。このような衝動性を抑えたり注意を持続させたりする働きは脳の前頭葉にあると考えられている。発達途上にある子どもの脳機能を直接測ることは容易ではないが、前頭葉機能の発現であるこれらの行動を捉えることで脳機能の発達的变化をみることができる。就学前の幼児 (4 歳児と 5 歳児) に、衝動性と注意の持続を測る課題を実施した。その結果、年齢が上がるにつれ、衝動性と注意持続の困難さは低減することが確認された。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

現職保育士を対象とした夜間開設の授業として「障害児保育教育論Ⅰ・Ⅱ」と「保育実践研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を担当した。

「障害児保育教育論」では、前期は昨今頻繁に取り上げられる発達障害のみならず、従来からみられていた視覚、聴覚、知的の各障害なども含めた障害種毎の特徴を説明した。また後期は、2007年4月に障害児教育の場が特別支援教育へ移行したことを取り上げ、障害児教育の歴史、特別支援教育の内容を網羅した上で、各々の受講生が属する地域の特別支援教育に対する取り組みを調べ、発表する時間を設けた。

「保育実践研究」では、受講生の持つ疑問、課題を取り上げ、それぞれがテーマを持って研究活動を行うことができるよう指導を行った。本年度は、持続遂行課題の就学前児童における実施、子育ての場としての博物館の可能性、障害児の絵本に対するかかわり方の変化の3課題について指導した。

## ◆研究計画

地域における障害児支援の臨床的研究では、本年度採択されたグローバルCOEプログラムの小西行郎教授とともに、当該地域における障害児の実態調査を進めている。今後、当該地域に現存するリソースの精査を行い、現在のリソースと関連させ、必要とされている支援体制の形態を検討する。またその体制に基づき実践を進めながら、より地域に根ざした、かつ他の地域でも応用できるような汎用性のある支援体制のプランを検討していく。

発達段階における脳機能の成熟過程の基礎的研究では、持続遂行課題を用いた幼児の脳機能変化を検討してきたが、今後は可搬形の脳波計測装置を用いて成人を中心に前頭葉機能の脳波計測を実施していく。また可能であれば幼児が持続遂行課題を実施している際の脳波の検討も行っていく。

## ◆メッセージ

今障害児を取り巻く環境は大きく変化してきています。これまでのような分離教育のスタイルを見直す動きも出てきています。障害児の保育、特に地域での支援に興味をもち、積極的にかかわっていくと、きっと新しい、面白いフィールドが見つかると思います。また一方で、現場で行われる保育・教育活動を裏付けするような基礎的な研究も重要です。私たちの行動を、脳の働きから説明する取り組みはこれからも重要な知見を提供してくれることと思います。これらの知見が保育・教育活動に、すぐに短絡的に役に立つ知見となり得る訳ではありませんが、地道に接点を探っていく活動は必要です。実践を中心に進めていくのであれば基礎的な知見に、また基礎的な研究を中心に進めていくのであれば、その知見が応用される可能性のある現場に、それぞれに開かれた目を持って研究ないしは実践に取り組んでいって頂けることを願っています。